

DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止

# WORLD PURGE II

—ワールド・パージ—



——篠ノ之束という天才を手に入れるために、  
どのようによれば良いのだろうかという考えは、  
国や企業の重鎮達が常日頃から考えていたことだ。

過去に二度とある組織が篠ノ之束を食事に誘い、  
睡眠薬等を混入させ捉えようとするも見抜かれ、  
また強攻策としてISを運用するも生身で解除する。

彼女にとつて機能停止程度の芸当は  
容易いことなのだろう——予測できていたことだ。

しかしその時見せた身体能力は、ブリュンヒルデに  
匹敵、いや……もしかすれば上回るかも知れない。

それは即ち天才のカタチをした  
ブリュンヒルデを相手にしている事と同義である。

誰もが頭を抱えた。

当然だろう——ブリュンヒルデという言葉は世界最強を指す称号、その身体能力に迫れる存在など片手で数えられるかどうかしかないのだ。しかしブリュンヒルデに接触した篠ノ之束の関係者を捉え、電腦ダイブ技術を応用した洗脳教育を行うことによって操り人形を作り上げることにある男が成功していた。男は組織に属していたが実働部隊に長年属していただけの無名であったことから、単独で捕獲したという功績に目くくらみ、組織からのバックアップを受けることなく天災の捕縛を目論みる。

無力化に成功したという結果は単に運が良かったとしか言い様がなかった。元々、篠ノ之束の関係者であるからこそ所持しているであろうシステムは本来条約により規制されたものであり男が目にしている良い代物でもない。市街地に存在して良い代物でもない。当然、男も捉えた少女が所持しているとは思ってもみながったものなのだ。

国家によって厳重に管理されるべきシステム——当然、条約によって規制されるだけあり使用は禁止されている。しかし男が所属している組織は国家組織からの支援を受けているものの公にすることができない実働部隊。正規手続きを踏まず運用することだけで国際法に抵触したとして処罰されるのだが、全ての行動が記録に残ることのないことから男は自身の操り人形する。少女を自身の操り人形する。

そして何事もなかったかのよう少女を隠れ家へ返し、篠ノ之束でさえも無防備になるであろう睡眠中に同じ方法で操り人形へと墮とす——

この電脳ダイブ技術は生物の意識という曖昧なものをデジタル化するという行為に該当するのだが、条約によって規制されるだけの理由が存在する。

電脳ダイブ技術は神経を經由することによって、ある種の電気信号を機械から脳へと伝達し、電子的な空間と対象者の脳を繋げる技術だ。

これまで端末を使用することによりネットワークに介入してきた人類が電子的な空間へ直接介入し、生物という意識を活動させることに成功したというシンギュラリティ。技術的特異点といっても良い成果である。しかし電子ダイブ技術使用時は肉体と意識が隔離される状態となることから使用者が無防備となり、それが規制される問題へと発展した。

人間の意識を電子的な空間から戻すとき、経験や得られた情報を会得するため隔離した意識をそのまま肉体に戻す形となるのだが、このとき使用者以外の第三者が外部端末を使用することで、その者の意識を改竄することができるようか。

その改竄されたデータを元の肉体へ戻した時、人格は改竄されたモノと異なるのだろうか？

結果的に意識というデータの解析と改竄は実証され、その技術は篠ノ之束に使用されることになったのだが――

しかし篠ノ之束の肉体に戻した意識は以前のままで、実行した男は試作兵器によって撃ち抜かれることになった……。

あーん♡ っ♡ っ♡ っ♡ っ♡ っ♡



ちんぽ♡  
ちんぽ♡  
ちんぽお...♡

あーん♡  
っ♡  
っ♡  
っ♡

あーん♡

っ♡

っ♡

っ♡

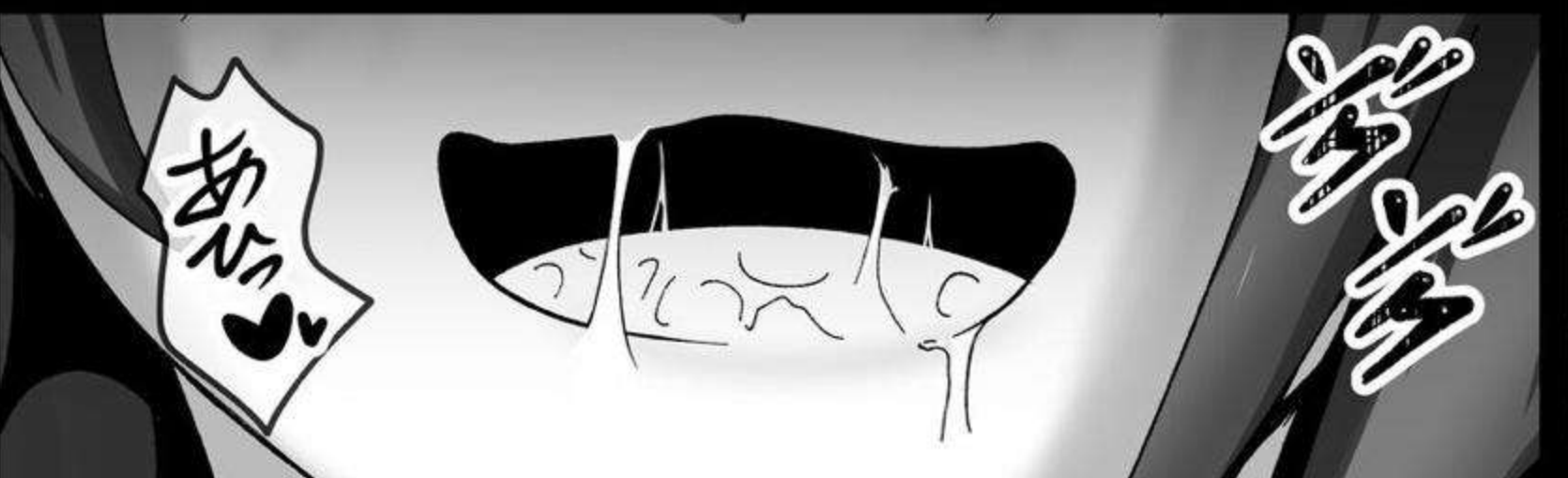
あーん♡  
っ♡  
っ♡  
っ♡

あーん♡

あーん♡

あーん♡  
っ♡

あーん♡  
っ♡  
っ♡  
っ♡  
っ♡



あーん♡

あーん♡  
っ♡







ポテ腹マシコがサーメン  
ごくごく飲んで  
特濃サーメンタンクに  
なりたがってる♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡





お腹いっぱい出してくれたのに  
なんだかボーっとしてきた……

ん……あ……♡

ん……♡

あつたかいの……♡

ん……♡

ん……♡

残念……  
もう夢から覚める  
時間なんだ——

まだシたいのに……♡

ん……♡

ん……♡

ん……♡



クッ  
クッ  
クッ  
クッ  
クッ  
クッ

00:00:00  
Time-out  
Over +

クッ  
クッ  
クッ  
クッ

クッ  
クッ  
クッ  
クッ

クッ  
クッ  
クッ  
クッ

クッ  
クッ  
クッ  
クッ

クッ  
クッ  
クッ  
クッ

クッ  
クッ  
クッ  
クッ

クッ  
クッ  
クッ  
クッ

クッ  
クッ  
クッ  
クッ

クッ  
クッ  
クッ  
クッ



時間が切れて安全装置が動いたんだね

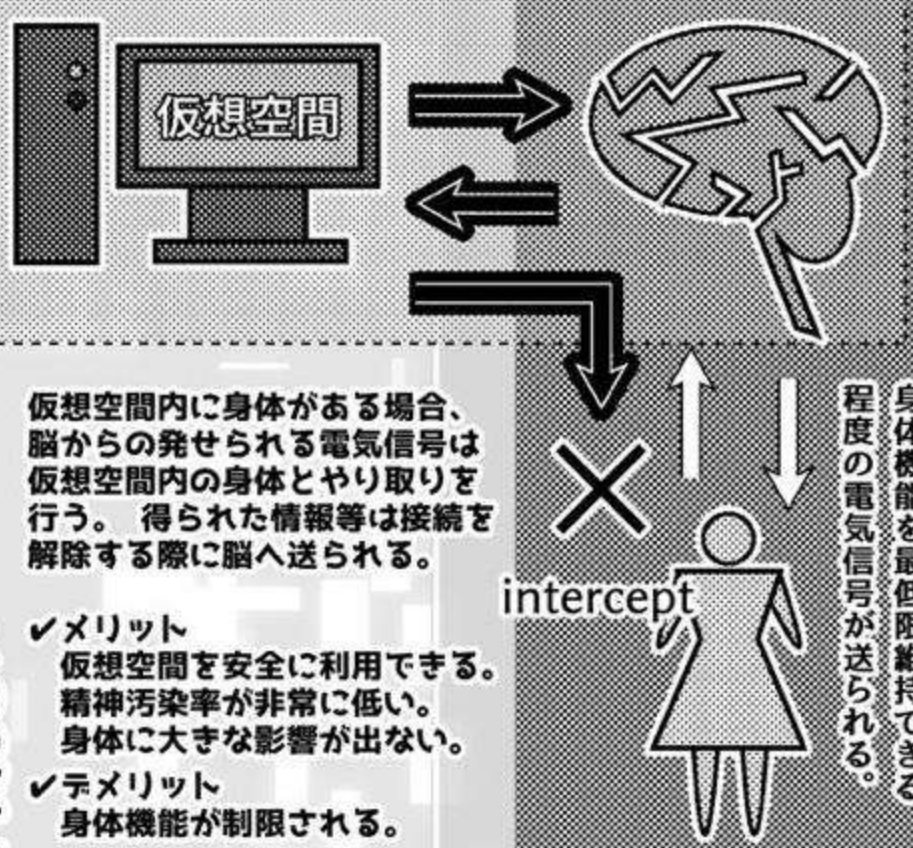


今日も気持ちよかった

くーちゃんを操り人形にされて以来  
私の身体に二つの不具合が生まれてしまった

従来、脳から発せられる電気信号は脳が所属する  
身体を巡り、外部からの刺激等を電気信号として  
脳へ送り返すのだが、電脳ダイブ時において  
脳から送り出された電気信号は電子的な空間に  
存在する受け皿へと送られていく。

正常な場合

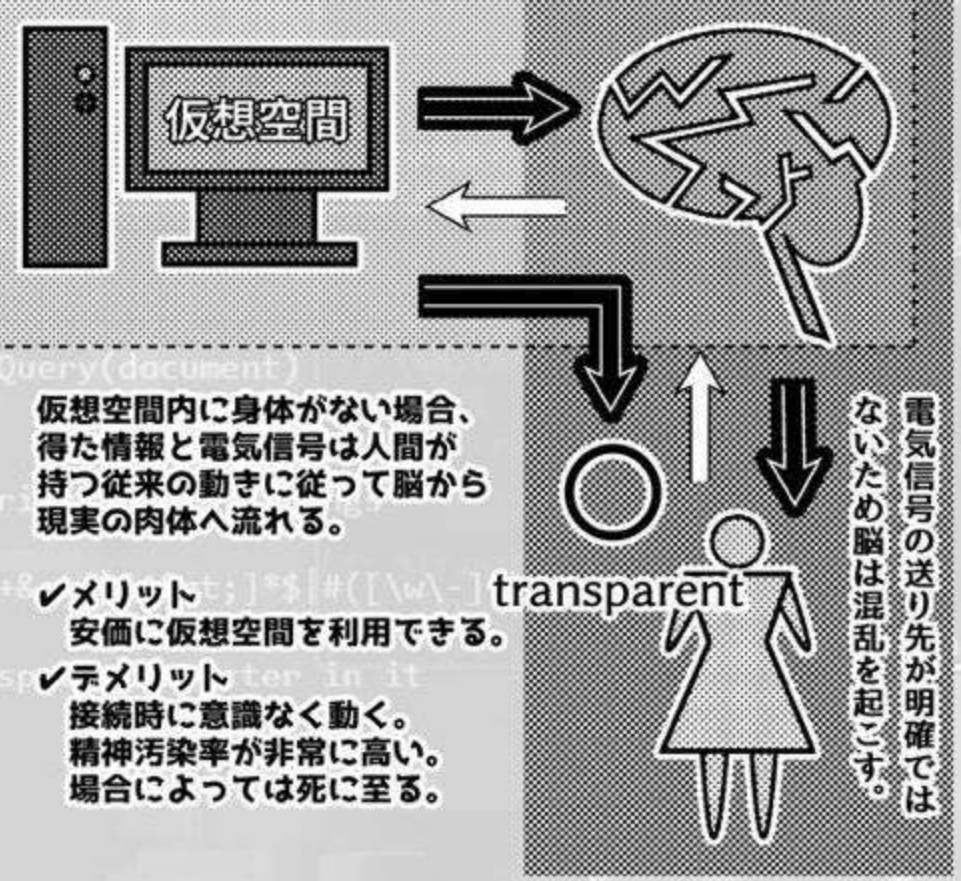


仮想空間内に身体がある場合、  
脳からの発せられる電気信号は  
仮想空間内の身体とやり取りを  
行う。得られた情報等は接続を  
解除する際に脳へ送られる。

- ✓メリット  
仮想空間を安全に利用できる。  
精神汚染率が非常に低い。  
身体に大きな影響が出ない。
- ✓デメリット  
身体機能が制限される。

身体機能を最低限維持できる  
程度の電気信号が送られる。

正常ではない場合



仮想空間内に身体がない場合、  
得た情報と電気信号は人間が  
持つ従来の動きに従って脳から  
現実の肉体へ流れる。

- ✓メリット  
安価に仮想空間を利用できる。
- ✓デメリット  
接続時に意識なく動く。  
精神汚染率が非常に高い。  
場合によっては死に至る。

電気信号の送り先が明確では  
ないため脳は混乱を起こす。

あ のとき篠ノ之束には  
「現実に存在する本物の肉体」と  
「電子ダイブ用に作られた  
ネットワーク上に存在する電子の肉体」  
二つの身体が同時に存在していたことになる。

この電子的の肉体は現実の肉体と同じ役割を  
持っており、ネットワーク上で受けた  
刺激等を脳が認識するため電子の肉体からも  
電気信号を脳へと送ることが出来る。

しかし現実の肉体に流れるはずの電気信号が別の肉体へと流れるということとは、本来流れるはずだった肉体には信号が流れないという意味も同時に発生する。

つまり身体を正常に保たせるための電気信号が止まり肉体が生命活動を止め死ぬわけだ。その状態を回避するために

コンピュータ中も身体機能を維持できるよう脳から発せられる電気信号を複製し同一の信号が一部分だけ現実の肉体へと流れるようになってる。




このとき電子的な空間で得た快楽を脳が認識し、電子の肉体へ正常に送り返されるのであったのならば問題はなかったのだから。

しかし快楽という電気信号は身体機能を維持するため流れる必要最低限の電気信号と共に現実の肉体へ誤って流れてしまった。



脳から発せられる電気信号に紛れて身体へと流れた快楽は、本来であれば篠ノ之束の肉体へ流れ徐々に消えていくはずだった。





しかし快楽という信号を刻まれた身体は  
夢という記憶の整理において、  
フラッシュバックしたかのように  
快楽を思い出させ脳へと影響を及ぼし  
——それは時間が経つにつれ膨れ上がり  
精神と現実の肉体までも犯し始めた。



ただの精神的な不調だと  
思い続けていたのだが、  
次第に性欲を抑えきれなくなり、  
自分の身体を慰め続け——  
そしてあの時と同じ状況を  
生み出し快楽の海で溺れ続ける。

当初は電子の肉体だけで  
快楽を得ていたのだが、  
そうやって慰め続けていくうちに  
行為がエスカレートしてしまい、  
今では現実の肉体と電子の肉体、  
その両方から同時に得られる  
普通では体験することができない  
二重の快楽が身体が支配していた。

止めるべきだと頭では理解しているのだが、  
身体は快楽を貪欲に求め続けており、  
今この時も快楽に従順な牝へと成り下がり  
犯され滅茶苦茶にされたいと暴走し続けている。

はぁ♡

はぁ♡



さっきからお腹の中がキュンキュンしてる…♡

こんなカッコ  
まるで変態みたい…♡

でも露出プレイを  
しちゃってる  
時点で変態かあ♡

誰かに見られてるわけでもないのに  
結構ドキドキする物なんだね。

ああ、早く気持ちよくなりたいたい♡  
人目のあるところで何も考えずに  
アソコを滅茶苦茶にいじって  
イキたい…♡

……ええん

ザッ

!?

ええん

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡



オネーサン  
そんなカッコして男漁りにきたのー？

マジおっぱいデケーし相手してよー



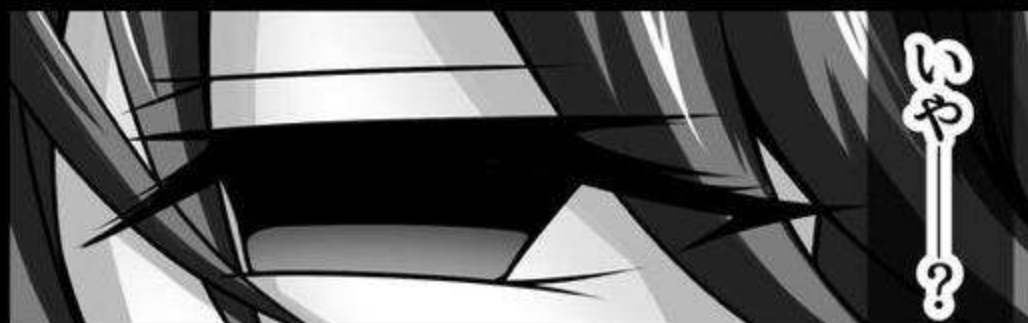
……は？

……？

なにコレ？  
この空間を作る時に男という  
データ入力はしたけど、  
行動に関するプログラムは  
なにも打ち込んでない

この空間に存在するのは  
私と設定したデータだけ。  
システムに入力した変則的な  
数値……？  
いや、ありえない。  
私以外は全てモノでしかない。

早々に消して……



ドキ♡

ドキ♡

コイツは使える♪

ウウウ

ウウウ





もう！露出オナニ  
だけじゃ満足できない！

どうせ私の作った電子空間じゃないと  
存在できないデータなんだから



ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡



んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡

おいおい  
チンコ見ただけでトンでるぜ。

もう一人♡

んっ♡

んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡



んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡

こんな水着着て遊び慣れてるんでしょ

ほら舐めてよ、オネーサン？

おちんちん♡

んっ♡

んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡  
んっ♡  
あは♡



ちゅるんちゅるんちゅるん♡

ちゅるん♡

ちゅるん♡

ちゅるん♡

ちゅるん♡

ちゅるんちゅるんちゅるん♡



そうそう口で  
キレイにね。

ちゅるん♡

ちゅるん♡

ちゅるん♡



ちゅるん♡



ちゅるん♡

ちゅるん♡

ちゅるん♡

ちゅるん♡

ちゅるん♡

ちゅるん♡

ちゅるん♡



ちゅるん♡

でも、ちよつと違うなあ。

ちゅるん♡

いい感じだよオネーサン。  
夢中になってしゃぶってる、いいね！

じゅぽ♡

ぎゅ♡  
ちゅぽ♡

ぐん！！

ちゅぽ♡

おぼ…♡

全部喉の奥に出すから  
ほらっ、ザーメン飲んでトンじまえっ！





人間に興味なんてありませんって顔してでも牝の悦びを知りやあ天才とてチンコに媚びる牝だ。

あ♡

は♡

は♡

ん♡

案の定、チンコ欲しさにケツ振って誘ってやがる。自分が作ったプログラムじゃなく、ことぐらいい気がついてるだらうに。

ねえ、オネーサンチンコいれて欲しい？

というかズブズブしていい？

あ♡

ん♡

は♡

は♡

イイ♡

して、ズブズブして♡

ズブズブ

スル...

しょうがないなあ

おっ、ヌルヌル飲み込んでくる！

ぐん

ぐん

ぐん

オネーサンのナカヤバイくらいあったけえ。

おあ

ぽん

ぽん

はち

あ

お

ぐん

ぐん



メツチャ気持ちいいわ…  
どう、オネーサンは気持ちいい？

いいッ!!  
とっつてもキモチいい…っ♡

ぽん♡

ぽん♡

あ♡

ほ♡

ほ♡

あ♡

そりやよかった。

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡



ところでオネーサン

ググ

あ♡

じゅわん♡

オレ、もっとオネーサンとやりたいなあ？  
ねえ、オレの所有物モノになつてよ？

そしたらさ毎日犯してあげるからさっ！

あざい

ぶるん

どあ♡

どう？  
毎日、ここうやってズブズブするの。

じゅわん♡

じゅわん♡

ちゅわん♡

じゅわん♡

ぐぐ



なるっ…♡  
セフレでもペットでもオナホでもなるう…♡

なるから、もっとズブズブしてえ♡



オレの所有物<sup>モ</sup>になってくれるよねえ？



オナホペットになったオネーサンに  
お祝いの濃い一発出すぞっ  
オナホマンコでしっかり搾り取れっ！



なら今日からオネーサンは  
オレのオナホペットだ



あ、言うとおりにしてもらおうか——

はひ……♡♡





※ワールド・ページIII 制作中

匿名で感想を送ることが可能な  
メッセージサービスに飛びます。



## 『ワールド・ページ III』

サークル

CCCNO

著者名

葵 東

発行日

2020年05月03日

連絡先

[aoitabanecccno@gmail.com](mailto:aoitabanecccno@gmail.com)

Twitter

[aoi\\_tabane](https://twitter.com/aoi_tabane)

pixiv

[https://www.pixiv.net/  
member.php?id=5274989](https://www.pixiv.net/member.php?id=5274989)

※本作品の無断複製や無断転載、  
Webへのアップロード、  
また18歳未満の閲覧や購入は  
禁止します。

## ※あとがき

はじめましての人ははじめまして、お久しぶりの方はお久しぶりです。葵がつく方の東さんです。前回の『ワールド・ページ』は三年もの期間をかけたのですが、今回は得られた経験を活かして続きを描いてみました。ここまでで一区切りの内容だと思ってください——前後編みたいなものです。ちなみに三冊目は単独で四冊目と五冊目が前後編というイメージで作られています。本当に描ききれぬのか怪しくなってきましたが流れは出来上がってるので頑張っていきたいとは思っています。変なことを思いつかなければ……。

さて本作品は一種の思考実験として話しが進められていますが、このような原因になったのには理由があります。PSVita専用ソフト『IS<インフィニット・ストラトス>2 LOVE AND PURGE』にて、コンピューター空間中にプログラムが解除されなくなるという問題が起こり、意識がコンピューター空間に取り残されるという状況がシナリオで起こりました。このときコンピューター世界は個人によって様々な世界を構築しており、意識も正常のモノではなく作られたモノとなっていたため、ヒロイン達は主人公である一夏を認識することがありませんでした。つまりコンピューター世界において記憶は外部からの影響を受けて改竄することができるということになります。またナビゲーターとして篠ノ之束との区別が難しいプログラムが登場したことから、意識を電子化する、もしくは生成するという事はISという作品において不可能ではないと考えられ、外部端末を経由した意識の改竄が本作品に取り入れられました。

意識の電子化が可能である場合、身体を持たぬ意識同士が互いを認識することができるのだろうかという疑問が浮かび上がりますが——とりあえず今日のところはこのへんで。この続きは三冊目が出来た時のあとがき続けることにしましょう。



CCCNQ

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

# WORLD PURGE II

—ワールド・パージ—

CCCNO